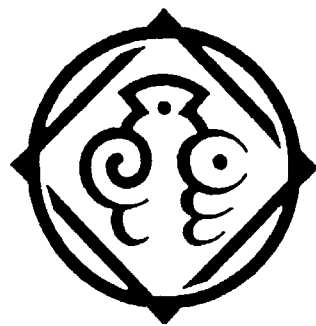


第67回

鳥取市民体育祭

令和6年度



目 次

1	競技種目別期日・会場・・・・・・・・	2～3 頁		
2	総 則・・・・・・・・・・・・・・・・	4～8 頁		
3	各種目実施要領			
(1)	ゲートボール競技・・・・・・・・	9 頁	(9) 弓道競技・・・・・・・・	13 頁
(2)	卓球競技・・・・・・・・	9 頁	(10) 女子バレーボール競技・・・・・・・・	13 頁
(3)	グラウンド・ゴルフ競技・・・・	10 頁	(11) ペタンク競技・・・・・・・・	13 頁
(4)	ソフトテニス競技・・・・・・・・	10 頁	(12) 男子バレーボール競技・・・・・・・・	14 頁
(5)	バスケットボール競技・・・・	11 頁	(13) ソフトボール競技・・・・・・・・	14 頁
(6)	バドミントン競技・・・・・・・・	11 頁	(14) 軟式野球競技・・・・・・・・	15 頁
(7)	水泳競技・・・・・・・・	12 頁		
(8)	テニス競技・・・・・・・・	12 頁		
	オープン種目			
	相撲競技・・・・・・・・	17 頁		
	柔道競技・・・・・・・・	17 頁		
	剣道競技・・・・・・・・	17 頁		
	ボート（ローイング）競技・・	17 頁		
	バウンスボール競技・・・・	18 頁		
	ソフトバレーボール競技・・・・	18 頁		
4	鳥取市民体育祭年度別優勝校区・・	19 頁		

第 6 7 回競技種目別期日・会場

本選（決勝）

種 目	会 場	期 日		予備日および会場	備 考
		月 日	競技開始		
ゲートボール	美保多目的広場	6月 9日 (日)	9:00	6月16日 (日) 美保多目的広場	
●総合開会式	鳥取市民体育館 エネトピアアリーナ		9:00		
卓 球			10:00		
グラウンド・ゴルフ	白兔グラウンド・ゴルフ場	6月16日 (日)	9:00	6月23日 (日) 白兔グラウンド・ゴルフ場	
ソフトテニス (Aグループ)	千代テニス場		9:00	7月14日 (日) 千代テニス場	
バスケットボール	鳥取市民体育館エネトピアアリーナ		9:00		
バドミントン	鳥取市民体育館エネトピアアリーナ	6月30日 (日)	9:00		
水 泳	国府町農村労働福祉センタープール	7月 7日 (日)	開始式 8:30		
テニス (B・Cグループ)	千代テニス場		9:00	7月21日 (日) 千代テニス場	
弓 道	鳥取市弓道場		10:00		
女子バレーボール	鳥取市民体育館エネトピアアリーナ		10:00		
ペタンク	Axis バードスタジアムサブグラウンド	7月14日 (日)	8:30	7月21日 (日) Axis バードスタジアムサブグラウンド	
男子バレーボール	鳥取市民体育館エネトピアアリーナ	8月 4日 (日)	10:00		
ソフトボール (B・Cグループ)	津ノ井スポーツ広場 若葉台野球場	8月25日 (日)	8:30	9月 1日 (日) 津ノ井スポーツ広場 若葉台野球場	
軟式野球 (Aグループ)	美保球場	9月22日 (日)	8:30	10月 6日 (日) 美保球場	
◎総合閉会式	鳥取市役所	10月17日 (木)	18:30		
相 撲	鳥取市営相撲場	6月 9日 (日)	10:00		オープン種目
柔 道	鳥取市武道館	6月16日 (日)	9:40		オープン種目
剣 道	鳥取市武道館		10:00		オープン種目
ボート (ローイング)	湖山池ボートコース	7月 7日 (日)	8:00		オープン種目
バウンズボール	鳥取市民体育館エネトピアアリーナ	7月14日 (日)	10:00		オープン種目
ソフトバレーボール	鳥取市民体育館エネトピアアリーナ	10月 6日 (日)	9:30		オープン種目

※ 屋外競技の雨天順延は1回とする

※ 雨天等による試合実施についての問い合わせは、午前7時以降に市役所へ電話すること(電話 0857-22-8111)

※ 都合により、日時及び会場を変更する場合があります。予めご了承ください。

予 選

種 目	会 場	期 日		予備日および会場	備 考
		月 日	競技開始		
バスケットボール	鳥取市民体育館エネトピアアリーナ	5月12日(日)	9:00		
ソフトボール (B・Cグループ)	津ノ井スポーツ広場 若葉台野球場	5月19日(日)	8:30	6月9日(日) 津ノ井スポーツ広場 若葉台野球場	
軟式野球 (Aグループ)	千代水スポーツ広場		8:30	6月9日(日) 美保球場	
	美保球場	5月26日(日)	8:30	6月23日(日) 美保球場	
女子バレーボール	鳥取市民体育館エネトピアアリーナ	6月2日(日)	10:00		
男子バレーボール	鳥取市民体育館エネトピアアリーナ	6月23日(日)	10:00		

参加申込期限

期 日	競 技 種 目
4月18日(木)	バスケットボール
4月25日(木)	ソフトボール、軟式野球
5月9日(木)	女子バレーボール
5月16日(木)	ゲートボール、卓球
5月23日(木)	グラウンド・ゴルフ、ソフトテニス
5月30日(木)	男子バレーボール
6月6日(木)	バドミントン
6月13日(木)	水泳、テニス、弓道
6月20日(木)	ペタンク

※FAX、メール等で参加申込みをする。

監督会議

- 下表中の監督会議(バスケットボール、軟式野球、ソフトボール、女子バレーボール、男子バレーボール、水泳)は、いずれも午後6時30分より行う。
なお、監督会議の出席者は、各校区2人までとする。
- 予選開催の5種目(バスケットボール、軟式野球、ソフトボール、女子バレーボール、男子バレーボール)は、監督会議の際に本選の組合せも決定する。
- 卓球、ゲートボール、テニス、ソフトテニス、バドミントン、ペタンクの監督会議および組合せ抽選は大会当日競技開始前に実施する。(ただし、グラウンド・ゴルフ、弓道については、打順等を協会が事前に決める。)
- 申込みしたにもかかわらず、監督会議を欠席した場合、棄権扱いとする。監督会議当日に事務局から出欠の確認が取れない場合も同様とする(水泳を含む。)

期 日	会 場	競 技 種 目
4月25日(木)	会場は事前に 鳥取市公式ウェブ サイトへ掲載	バスケットボール
4月30日(火)		ソフトボール
5月2日(木)		軟式野球
5月16日(木)		女子バレーボール
6月6日(木)		男子バレーボール
6月20日(木)		水泳

第67回 鳥取市民体育祭

- 1 主催 鳥取市、鳥取市教育委員会、鳥取市地域体育会連合会、鳥取市スポーツ推進委員協議会
 2 後援 鳥取市自治連合会、鳥取市連合婦人会
 3 主管 鳥取市体育協会
 4 総則

(1) 開催の主旨 市民のスポーツ活動の充実と体力の増進をはかり、健康で明るい生活づくりを基とする。

(2) 実施要項

① 競技種目

得点種目 ゲートボール、卓球、グラウンド・ゴルフ、ソフトテニス、バスケットボール、バドミントン、水泳、テニス、弓道、女子バレーボール、ペタンク、男子バレーボール、ソフトボール、軟式野球（14種目）

ソフトテニス、テニス、軟式野球、ソフトボールについては、下記のとおり実施する。

（A、B・Cの隔年開催とする。）

ソフトテニス：Aグループ テニスは：B・Cグループ

軟式野球：Aグループ ソフトボール：B・Cグループ

オープン種目 相撲、柔道、バウンスボール、剣道、ボート、ソフトバレーボール（6種目）

② 期日、会場 別表（P2, 3）のとおり

③ グループ区分

Aグループ (15校区)	美保 湖山西	城北 醇風	世紀 賀露	浜坂 青谷	岩倉 末恒	美保南 日進	湖山 久松	面影
Bグループ (15校区)	宮ノ下 米里	稲葉山 富桑	若葉台 鹿野	浜村 明德	河原第一 用瀬	修立 大正	津ノ井 福部	中ノ郷
Cグループ (14校区)	美和 瑞穂	国府東 西郷	遷喬 逢坂	倉田 神戸	湖南 明治	宝木 東郷	佐治	散岐

※小学校区での参加を基本とする。

ただし、校区再編に伴い統合した校区においては、旧校区での参加を認める。

旧校区での参加を希望する場合は、全競技の1/2以上出場することを条件とし、該当小学校区内で合意形成が得られたものに限る。

④ 競技方法 全種目A・B・Cグループに分けて競技を行う。

⑤ 予選

バスケットボール、軟式野球、女子バレーボール、ソフトボール、男子バレーボールについては予選を行い、各グループの上位4チーム(バスケットボールは上位8チーム)が決勝に出場する。

⑥ 参加選手資格

ア 出場校区内に住民登録のある者（市内で異動の場合は、令和6年4月1日に居住している校区、または地区）で各種別競技団体の認めるアマチュア競技者であること。

イ 小学校、中学校に在学している者は対象外とする（ただし、オープン種目及び、水泳は除く。）

ウ 年齢の算出基準は、令和6年4月1日現在の満年齢とする。

エ ふるさと選手について

(ア) ふるさと選手登録を認める校区（次のすべてを満たす校区とする）

- ・ふるさと選手の出場を希望する校区
- ・試合に勝つことを目的にするのではなく、あくまでも試合に出場するための人員補充を目的としている校区

(イ) ふるさと選手の登録要件

- ・過去に、ふるさと選手として出場する校区に1年以上居住していた方
- ・現在居住している校区体育会から選手登録されていない方
 ※現在居住している校区での出場を基本としているため、現在居住している校区体育会から出場を打診された場合（登録の前後に関わらず）は、現在居住している校区で出場すること
- ・本市に住民登録のあるアマチュア競技者

(ウ) ふるさと選手の起用（人数制限）

- ・ふるさと選手は、校区体育会ごと及び競技ごとに選手登録者総数の3分の1以内とし、尚且つ試合に出場できるふるさと選手の数、当該競技の試合選手の3分の1以内とする。

ふるさと選手の起用（人数制限）

参加者数	1～2人	3～5人	6～8人	9～11人	12～14人	15～17人	18～20人
ふるさと選手の人数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人

⑦ 参加申込

ア 申込期限 別表（P3）のとおり

イ 棄権扱いとする場合

- ・申込期限までに申込みがない場合
- ・監督会議を欠席した場合（水泳を含む。）

ウ 申込先

〒680-8571 鳥取市幸町7-1番地

鳥取市体育協会事務局

（鳥取市教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課内）

電話 0857-20-3363

エ 申込方法

①持参 ②郵送 ③FAX（0857-20-3954）

④Eメール sports@city.tottori.lg.jp

※郵送の場合は消印日、FAX・Eメールの場合は到着日時を申込日として扱う。

※監督印は必要ない。

※申込方法のFAXやメールについては送信後に連絡すること。

オ 申込書様式

市民体育祭参加申込書						
(水泳、陸上、卓球以外)						校区
種目						校区
監督	(氏名)					
	(住所)					
	(電話番号)					
	(メールアドレス)					
氏名	性別	年齢	住所	段・級別	備考	
1						
2						
3						
4						
5						
6						

市民体育祭卓球競技参加申込書					
種目	卓球	校区			
監督	(氏名)				
	(住所)				
	(電話番号)				
	(メールアドレス)				
	氏名	年齢	住所	備考	
男子	1				
	2				
	3				
	4				
女子	1				
	2				
	3				
	4				

市民体育祭水泳競技参加申込書					
校区					部門
監督	(氏名)				
	(住所)				
	(電話番号)				
	(メールアドレス)				
種目	氏名	年齢	住所	備考	
一部(30歳未満)					
50m自由形					
50m自由形					
50m平泳					
50m平泳					

市民体育祭陸上競技参加申込書					
校区					部門
監督	(氏名)				
	(住所)				
	(電話番号)				
	(メールアドレス)				
部	種目	氏名	年齢	住所	備考
1	100m				
1	100m				
1	砲丸投				
1	砲丸投				
1	走幅跳				
1	走幅跳				
2	100m				

- 注) ・社会奉仕活動等補償制度申込みに必要なため、**必ず申込書の全ての項目を記入**のこと。
- ・参加申込書の備考欄に「ふるさと選手（現校区〇〇校区）」と記入し、提出すること。
 - ・電話や口頭による申込みは受け付けない。可能であるならば、エクセルデータによる提出が望ましい。
 - ・**FAXやメールで提出する場合、必ず事務局へ送信の連絡を行うこと。**
 - ・メールアドレスは、携帯のキャリアメール（@docomo.ne.jp、@ezweb.ne.jp等）ではなく、ウェブメール（@gmail.com、@yahoo.co.jp、@icloud.com等）のドメインのメールを記入すること。
 - ・年齢資格を問う種目については、申込書のほか当日提出のメンバー用紙にも氏名、年齢を記載すること。（年齢は令和6年4月1日現在）

※要項、参加申込書は、鳥取市公式ウェブサイト
[\(http://www.city.tottori.lg.jp/\)](http://www.city.tottori.lg.jp/) からダウンロードできる。

- ⑧ 抽 選 監督会議において行う。(日程は別表P3のとおり。)
- ⑨ 役員構成 団長1名、総監督1名、種目別の監督各1名とする。
- ⑩ 選 手 各校区は本選・決勝の主旨に則り、多くの市民が参加できるよう民主的な方法で選手を選抜すること。
出場選手は、体調が悪いときは参加を辞退すること。
- ⑪ 表 彰 ・各得点種目の表彰は3位まで(ただし、水泳は6位まで)とし、優勝チームに優勝杯を授与する。(持ち回り)
・総合成績の表彰は各グループ6位までとし、優勝校区に優勝旗、2位～6位の校区には杯を授与する。(持ち回り)

⑫ 総合開会式及び閉会式

総合開会式 6月 9日(日) 午前9時 鳥取市民体育館エネトピアアリーナ
総合閉会式 10月17日(木) 午後6時30分 鳥取市役所本庁舎会議室

⑬ 得点計算方法、順位決定方法

ア 順位点

各種目の順位点は次のとおりとする。

A グラウンド・ゴルフ、弓道、水泳

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
得点	10.00	9.00	8.50	8.00	7.50	7.00	6.50	6.00

順位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	参加しない校区
得点	5.50	5.00	4.50	4.00	3.50	3.00	2.50	0.00

- B 男子バレーボール、女子バレーボール、卓球、ゲートボール、ソフトテニス、テニス、バドミントン、バスケットボール、ペタンク、ソフトボール、軟式野球
Aと同様とする。ただし、同順位の校区が複数となった場合の順位点は、同順位となった校区が占める順位の得点の合計を、当該校区数で除した得点とする。

【同順位の校区が複数となった場合の順位点の例】

4校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区

5校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	7.50	1校区

6校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	7.25	2校区

7校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	7.00	3校区

8校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区

9校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	5.50	1校区

10校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	5.25	2校区

11校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	5.00	3校区

12校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	4.75	4校区

13校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	4.50	5校区

14校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	4.25	6校区

15校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	4.00	7校区

イ 参加点

各種目に参加した校区に対して、順位点とは別に3点を参加点として与える。なお、水泳競技においては、それぞれの種目について参加点（各3点）が与えられる。（ただし、失格・棄権の場合は与えない。）なお、水泳競技で泳法違反があった場合は、失格とせず参加点のみ与える。（順位点はつかない。）

ウ 各校区の1試合目で失格・棄権となった場合は、順位点、参加点とも与えない。

エ 総合順位は、参加点と順位点の合計を種目点とし、その合計（総合得点）により決定する。なお、同点校区のあるときは、上位入賞の多い校区を上位とし、それでも同じ場合は、参加種目数の多い校区を上位とする。アのAの各種目の順位についても、同点の場合は同じ方法で決定する。

オ 各種目について、順位が出て結果が公表された後に失格となった校区があっても、下位の校区の順位の繰り上げは行わない。（当該順位は欠順とする。）

カ 悪天候等による競技中止時の得点計算方法及び順位決定方法

(ア) 男子バレーボール、女子バレーボール、ゲートボール、ソフトテニス、テニス、バドミントン

- ・当日の受付が完了した時点で、参加点を与える。
- ・同順位の校区が揃った時点その順位確定とする。
- ・準々決勝進出校区が確定しないで競技が中止となった場合、参加校区に付与される予定であった順位点をABCのグループごとに合計し、それらの校区に均等配分する。
- ・準決勝進出校区が確定しないで競技が中止となった場合、準々決勝進出校区に付与される予定であった順位点をABCのグループごとに合計し、それらの校区に均等配分する。
- ・決勝進出校区が確定しないで競技が中止となった場合、準決勝進出校区に付与される予定であった順位点をABCのグループごとに合計し、それらの校区に均等配分する。
- ・優勝校区が確定しないで競技が中止となった場合、決勝進出校区に付与される予定であった順位点をABCのグループごとに合計し、それらの校区に均等配分する。

(イ) 卓球、ペタンク

- ・当日の受付が完了した時点で、参加点を与える。
- ・ABCのグループごとに、予選リーグが終了しないで競技が中止となった場合、参加校区に付与される予定であった順位点をABCのグループごとに合計し、それらの校区に均等配分する。
- ・決勝トーナメントが途中で中止となった場合、順位点については、(ア)と同様とする。

(ウ) バスケットボール、ソフトボール、軟式野球

- ・予選の第1試合の受付が完了した時点で、参加予定校区すべてに参加点を与える。
- ・順位点については、(ア)と同様とする。

(エ) グラウンド・ゴルフ、弓道

- ・当日の受付が完了した時点で、参加点を与える。
- ・競技途中で中止となった場合、参加校区に付与される予定であった順位点をABCのグループごとに合計し、それらの校区に均等配分する。

(オ) 水泳

- ・当日の受付が完了した時点で、参加点を与える。
- ・ABCのグループごとに終了している種目の合計得点により順位を決定し、順位点を与える。

ただし、上記の(ア)～(オ)の扱いについては、ウの場合は適用しない。

⑭補償制度

試合中に生じた偶発的な事故等の保障については、鳥取市が負担して加入する「鳥取市社会奉仕活動等補償制度」を適用する。主な内容は次のとおり。

ア 傷害事故に関する補償

活動者（選手等）が死亡又は負傷した場合に補償

- (ア) 死亡補償金 － 500万円
- (イ) 後遺障害補償金 － 障害の程度により500万円×約款規定割合の金額
- (ウ) 入院補償金 － 3,000円/日
- (エ) 通院補償金 － 1,500円/日

イ 損害賠償事故に関する補償

活動者（選手等）が第三者の身体や財物又は第三者からの預かり品等に損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合に補償（免責金額は5000円）

- (ア) 身体賠償 － 1億5000万円/事故（限度額）
- (イ) 財物賠償 － 1億5000万円/事故（限度額）
- (ウ) 保管物賠償 － 3000万円/事故（限度額）

※故意による場合や活動者の脳疾患、疾病または心神喪失による場合は、補償が適用されない。

※事故の発生した日から14日以内に鳥取市体育協会（電話 0857-20-3363 問い合わせ含む）へ報告すること。

**※制度の詳細は、「鳥取市ボランティア・市民活動センター」のウェブサイト
(<https://www.tottoricity-syakyo.or.jp/tvc/hoken/>)を確認のこと。**

⑮服 装

軽装でスポーツのできる服装とし、胸部又は背部に校区名を明記するものとする。
ほか、各種目の競技規定に準ずる。

⑯大会運営について

- ア 競技及び大会参加資格における疑義が生じた場合は、大会実施要項に基づいて判定し、規定違反が生じた場合は、その時点で失格とする。
- イ 相互審判、相互役員等の義務付けがある種目について、開始予定時刻10分経過後、人数がそろわない場合は、棄権とする。

⑰参加料 無 料

◆個人情報の取扱いについて◆

個人情報については、今大会の競技運営目的以外には一切使用しない。

(1)ゲートボール競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム。監督1名、選手5名以上8名以内とする。
(チームには専任の監督を置くことができる。ただし、監督は選手として参加できない。)
- (2) 参加制限 高校・大学(大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者も出場できる。
審判員3名を帯同すること。
- (3) 競技方法 トーナメント方式で行う。
- (4) 使用球 主催者により定めた公認球
- (5) 競技規則 (公財)日本ゲートボール連合公式ゲートボール競技規則による。
試合開始時点で選手5名揃わない場合は棄権とする。

2 服 装

靴は運動靴を使用すること。ゼッケンは、チームで持参すること。

- 3 当日の受付は8時30分までとし、受付締切後に組合せ抽選を行う。
スティックはチームで持参すること。

(2)卓球競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム。監督1名、男子5名以上7名以内、女子5名以上7名以内とする。
(監督は選手を兼ねることができる。)
- (2) 参加制限 高校・大学(大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者は対象外とする。
男子は30歳以上1名、40歳以上1名を含むこと。
- (3) 競技方法 ①硬式によるシングルス4試合、ダブルス3試合として下記の順で行う。
 - 1 女子シングルス 2 男子シングルス
 - 3 女子ダブルス 4 男子ダブルス(40歳以上、30歳以上)
 - 5 混合ダブルス 6 女子シングルス
 - 7 男子シングルス②予選リーグの後に決勝トーナメントを行う。
③予選リーグは、勝敗にかかわらず7番まで試合を行う。
順位決定は、勝敗により行う。ただし、勝敗が並んだ場合は、予選リーグの全対戦成績による勝率で順位を決定する。
④決勝トーナメントは、4マッチ先取した時点で対戦を打ち切る。
- (4) 使用球 (公財)日本卓球協会公認硬式プラスチック球 40mmホワイトを使用する。
- (5) 競技規則 現行の日本卓球ルールによる。

- 2 当日の受付は、総合開会式終了後に鳥取市民体育館会議室にて行う。受付終了後に抽選を行う。

(3) グラウンド・ゴルフ競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム。監督1名、選手6名以上9名以内とする。(監督は選手を兼ねることができる。男女不問。)
 - (2) 参加制限 高校・大学(大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者も出場できる。1ゲーム(8ホール)ごとに選手変更を認める。ケガ、体調が悪くなった場合はその場で認める。
 - (3) 競技方法 ①チーム対抗戦とする。(6人編成)
②16ホールとし、8ホール×2コースとする。
 - (4) 競技規則 (公社)日本グラウンド・ゴルフ協会ルールによる。ただし、一部鳥取市民体育祭ルールを適用する。
- 2 参加申込書の1～6番は当日の打順とする。7番以降は、補欠とする。
※プログラム作成の関係上、申込期限以降の変更はできない。
- 3 当日の受付は8時30分までとし、9時より開始式を行う。

(4) ソフトテニス競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム。(監督は選手を兼ねることができる。)
【A・Bグループ】 監督1名、選手10名以上16名以内とする。1チーム5組による点取り法。女子のペアを1組と性別を問わないが50歳以上のペアを1組必ず含むこと。その他の3組は、年齢・性別を問わない。
【Cグループ】 監督1名、選手6名以上10名以内とする。1チーム3組による点取り法。女子のペアを1組必ず含むこと。その他の2組は、年齢・性別を問わない。
 - (2) 参加制限 高校・大学(大学院・短期大学を含む)に在学している者は対象外とする。専門学校に在学している者は出場できる。
前年度国体中国予選大会において県代表となった者の出場は認めない。
 - (3) 競技方法 ①トーナメント方式で行う。
②全試合ダブルスによる対抗戦とする。

A・Bグループ	1	フリー	Cグループ	1	フリー
	2	女子		2	女子
	3	フリー		3	フリー
	4	50歳以上			
	5	フリー			

③各試合とも7ゲームマッチ。
④相互審判とする。
 - (4) 使用球 赤Mまたは、ケンコーボールを使用する。
 - (5) 競技規則 (公財)日本ソフトテニス連盟が制定するソフトテニス競技規則に準じて行う。
(旧日本ルール)
競技開始時点で編成組数(A・B5組、C3組)がそろわない場合は棄権とする。
 - (6) 本年度は、Aグループの開催とする。
- 2 服 装
靴は必ずテニスシューズを履くこと。
- 3 当日の受付は8時30分までとし、受付締切後に組合せ抽選を行う。

(5)バスケットボール競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム。監督 1 名、選手 5 名以上 15 名以内とする。
(監督は選手を兼ねることができる。)
- (2) 参加制限 高校に在学している者は対象外とする。
試合中 35 歳以上が必ず 1 名出場していること。また、大学（大学院・短期大学を含む）・専門学校に在学している者は、1 名（試合中の交代は可能）までとする。
- (3) 競技方法 トーナメント方式で行う。
競技時間は、10 分ハーフ（休憩 5 分）とする。
前・後半とも流し 10 分で行うが、後半残り 2 分は時計を止める。
前試合終了後 10 分で次の試合を開始する。
- (4) 使用球 7 号球を使用する。
- (5) 競技規則 現行（公財）日本バスケットボール協会規則による。

2 服装

選手は、チームごとに同色のユニフォームを着用し、胸部と背中に背番号を明記すること。

(6)バドミントン競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム。（監督は選手を兼ねることができる。）
【A・Bグループ】 監督 1 名、選手 10 名以上 16 名以内とする。女子のペア 2 組と 40 歳以上のペア（性別制限なし）を 1 組含むこと。
【Cグループ】 監督 1 名、選手 6 名以上 10 名以内とする。女子のペア 1 組と 40 歳以上のペア（性別制限なし）を 1 組含むこと。
- (2) 参加制限 高校・大学（大学院・短期大学を含む）・専門学校に在学している者は対象外とする。
- (3) 競技方法 ①トーナメント方式で行う。
②全試合ダブルスによる対抗戦とする。ただし、対戦校区が初戦の場合は勝敗に関係なく全ての対戦を行う。
- | | | | | | |
|---------|---|--------|-------|---|--------|
| A・Bグループ | 1 | フリー | Cグループ | 1 | フリー |
| | 2 | 女子 | | 2 | 女子 |
| | 3 | 40 歳以上 | | 3 | 40 歳以上 |
| | 4 | 女子 | | | |
| | 5 | フリー | | | |
- (4) 審判 原則、第 1 試合は相互審判とし、第 2 試合以降は敗者審判とする。
- (5) 競技規則 現行の（公財）日本バドミントン協会制定のルールによる。
- 2 受付、監督会議等 8 時 30 分に参加受付を行い、その後監督会議と組合せ抽選を行う。

(7)水泳競技

1 実施要領

種目

①男子の部	一部（年齢制限なし）	25m（自由形、平泳、背泳）	50m（自由形、平泳、背泳）
	二部（30歳以上）	25m（自由形、平泳、背泳）	50m（自由形、平泳、背泳）
	三部（40歳以上）	25m（自由形、平泳、背泳）	50m（自由形、平泳、背泳）
	四部（50歳以上）	25m（自由形、平泳、背泳）	50m（自由形、平泳、背泳）
②女子の部	一部（年齢制限なし）	25m（自由形、平泳、背泳）	50m（自由形、平泳、背泳）
	二部（30歳以上）	25m（自由形、平泳、背泳）	50m（自由形、平泳、背泳）
	三部（40歳以上）	25m（自由形、平泳、背泳）	50m（自由形、平泳、背泳）
	四部（50歳以上）	25m（自由形、平泳、背泳）	50m（自由形、平泳、背泳）

- 2 参加制限 高校・大学（大学院・短期大学を含む）・専門学校に在学している者は対象外とする。
1校区1種目につき2名以内、1人2種目以内とする。
（監督は選手を兼ねることができる。）

- 3 補欠選手 補欠選手は、全種目を通して15名以内とする。これ以上の選手変更は認めない。

- 4 泳法違反でもタッチ、あおり足等は参加点を与える。ただしフライング、足着きは参加点を与えない。

(8)テニス競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム。（監督は選手を兼ねることができる。）

【A・Bグループ】 監督1名、選手10名以上16名以内（うち女子は3名以上）とする。男子については、45歳以上を1名含むこと。

【Cグループ】 監督1名、選手6名以上12名以内（うち女子は2名以上）とする。

- (2) 参加制限 高校・大学（大学院・短期大学を含む）・専門学校に在学している者は対象外とする。

- (3) 競技方法 ①トーナメント方式で行う。

- ②全試合ダブルスによる対抗戦とする。

A・Bグループ	フリー	3組	Cグループ	フリー	2組
	女子	1組		女子	1組
					ミックス1組（女子のみ可）

- ③各試合とも6ゲームマッチ。（ノーアド方式）

- ④敗者戦を実施する。（初回戦の敗者チーム同士で原則として1回のみ行う）

- (4) 競技規則 （公財）日本テニス協会ルールによる。

試合開始時点で5組あるいは3組揃わない場合は、棄権とする。

- (5) 本年度は、B・Cグループの開催とする。

- 2 当日の受付は8時30分までとし、受付終了後に組合せ抽選を行う。

なお、競技中雨天順延になった場合で、順延日に選手（補欠含む）を変更する時は、その当日（順延日）受付終了までに選手変更すること。

(9)弓道競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム。監督 1 名、選手 3 名以上 8 名以内とする。
(監督は選手を兼ねることができる。)
参加申込みは 8 名まで認めるが、大会当日受付時に参加申込書の中から出場者 5 名を確定させること。
 - (2) 参加制限 高校・大学（大学院・短期大学を含む）・専門学校に在学している者は対象外とする。
前年度国体中国予選大会において県代表となった者の出場は認めない。
 - (3) 競技方法 団体試合とする。
近的競技（各自 8 射、計 24 射）
前後半の選手交代を認める。
 - (4) 同中の場合は、協会の定める方法により順位を決することとする。
- 2 参加申込みの際に、段・級別を明記すること。
 - 3 当日の受付は 9 時 30 分までとする。

(10)女子バレーボール競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム。監督 1 名、選手 9 名以上 15 名以内とする。
(監督が女子の場合は選手を兼ねることができる。)
 - (2) 参加制限 高校・大学（大学院・短期大学を含む）・専門学校に在学している者は、2 名まで登録することができるが、出場は 1 名のみとする。
試合中 40 歳以上が必ず 2 名出場していること。
 - (3) 競技方法 トーナメント方式（3 セットマッチ）で行う。
 - (4) 競技規則 現行（公財）日本バレーボール協会制定規則（9 人制）による。
ネット：2.05 m カラーボール 4 号球を使用する。
- 2 当日の受付は 9 時 30 分までとする。

(11)ペタンク競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チームとし、3 名のトリプルスで試合を行うものとする。
チームは、監督 1 名、選手 6 名以内とする。（監督は選手を兼ねることができる。）
高校・大学（高校・大学（大学院・短期大学を含む）・専門学校に在学している者も出場できる。
- (2) 競技方法 予選リーグの後に決勝トーナメントを行う。
試合中は、その試合に出ている 3 名以外はコートの中に入れてない。
- (3) 競技規則 現行（公社）日本ペタンク・ブール連盟競技規則による。ただし、一部ローカルルールを適用する。

2 服装

- 選手は、校区名が分かる服装で参加すること。例えば、ユニフォームなど揃いの上着、揃いのビブス、揃いの帽子、校区名の入った布などを着用すること。
- 3 大会に使用するボールは、公認球とする。
貸し出しボールが必要な校区は、参加申込書に貸出希望の有無を必ず明記すること。
 - 4 当日の受付は 8 時までとし、受付時に組合せ抽選を行う。
また、8 時 20 分より開始式を行う。

(1 2)男子バレーボール競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム。監督 1 名、選手 9 名以上 1 5 名以内とする。
(監督が男子の場合は選手を兼ねることができる。)
- (2) 参加制限 高校・大学 (大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者は、2 名まで登録することができるが、出場は 1 名のみとする。
試合中 4 0 歳以上が必ず 2 名出場していること。
- (3) 競技方法 トーナメント方式 (3 セットマッチ) で行う。
- (4) 競技規則 現行 (公財) 日本バレーボール協会制定規則 (9 人制) による。
ネット: 2. 3 8 m カラーボール 5 号球を使用する。

2 当日の受付は 9 時 3 0 分までとする。

(1 3)ソフトボール競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム。監督 1 名、選手 9 名以上 2 0 名以内とする。
(監督は選手を兼ねることができる。)
- (2) 参加制限 3 5 歳以上の男女とする。
- (3) 競技方法 トーナメント方式で行う。
- (4) 使用球 ゴム検定 3 号球を使用する。
- (5) 競技規則 ①本年度 (公財) 日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルールによる。
②予選・本選ともイニング数を 7 回とし、勝敗が決しない場合は、8 回よりタイブレーカーを採用する。また、3 回以降 1 5 点差、4 回以降 1 0 点差、5 回以降 7 点差でコールドゲームとする。
③時間制を採用する。(1 時間 2 0 分を超えたら新しいイニングには入らない。)
④大会特別規則を定めることがある。
⑤投捕間の距離を男子 1 4. 0 2 m、女子 1 2. 1 9 m とする。
- (6) その他 優勝チームは鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の鳥取市代表チームとして、東部地区予選に出場する。
- (7) 本年度は、B・C グループの開催とする。

2 服装

選手は、ユニフォームの胸部に校区名の入った布をつけること。ユニフォームナンバーをつけること。
(選手 1 ~ 9 9、監督 3 0、主将 1 0) ユニフォームにナンバーのない選手の出場は認めない。

(14) 軟式野球競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム。監督 1 名、選手 9 名以上 20 名以内とする。
(監督は選手を兼ねることができる。)
- (2) 参加制限 高校・大学（大学院・短期大学を含む）・専門学校に在学している者は対象外とする。
- (3) 競技方法 トーナメント方式で行う。
- (4) 使用球 公認球（M号（メジャー））を使用する。
- (5) 競技規則 ①現行公認野球規則による。予選・本選ともイニング数を 7 回とし、5 回以降 7 点差でコールドゲームとする。
②時間制を採用する。（1 時間 30 分を超えたら新しいイニングには入らない。）
③大会特別規定を定めることがある。
- (6) 本年度は、A グループの開催とする。

2 服装

選手は、ユニフォームの胸部に校区名と背中に背番号の入った布をつけること。

記 録 表

種 目																			
男子バレーボール																			
女子バレーボール																			
ゲ ー ト ボ ー ル																			
卓 球																			
グラウンド・ゴルフ																			
テ ニ ス																			
バ ド ミ ン ト ン																			
水 泳																			
ソ フ ト テ ニ ス																			
弓 道																			
バスケットボール																			
ペ タ ン ク																			
軟 式 野 球																			
ソ フ ト ボ ー ル																			

オープン種目

相撲競技

- 1 実施要領
 - (1) 個人試合とする。
 - (2) 競技方法 トーナメント方式で行う。
 - (3) 参加制限 小学生を対象とする。
 - (4) 競技規則 (公財) 日本相撲連盟審判規程による。
- 2 参加申込
5月16日(木)午後5時までに鳥取市体育協会へ提出すること。申込書には段位を明記すること。(プログラム作成の関係上、当日の申込みは不可とする)

柔道競技

- 1 実施要領
 - (1) 団体・個人試合とする。
 - (2) 競技方法 トーナメント方式で行う。
 - (3) 参加制限 小学生・中学生を対象とする。
 - (4) 競技規則 国際柔道連盟試合審判規程による。
- 2 参加申込
5月30日(木)午後5時までに鳥取市体育協会へ提出すること。申込書には段・級別を明記すること。
- 3 当日の受付は午前9時までとする。

剣道競技

- 1 実施要領
 - (1) 個人試合とする。
 - (2) 競技方法 トーナメント方式で行う。
 - (3) 参加制限 一般の部のみ(年齢、職域等の制限はなし)
 - (4) 競技規則 全日本剣道連盟審判規則による。
- 2 参加申込
5月30日(木)午後5時までに鳥取市体育協会へ提出すること。(ただし、当日申込みも可) 申込書には段・級、年齢を明記すること。

ボート(ローイング)競技

- 1 実施要領
第40回鳥取市民レガッタを市民体育祭とあわせて開催する。
 - (1) 団体試合とする。
 - (2) 競技方法 トーナメント方式で行う。ただし、敗者復活戦を行う。
 - (3) 参加制限 なし
- 2 参加申込
大会要項を確認のうえ申込先へ提出すること。(要項は鳥取市体育協会まで)

バウンズボール競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム（監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 名以内）とする。
※監督・コーチは選手を兼ねても良い。
※校区で男子の部、もしくは女子の部どちらかを選択し、チーム登録を行う。
（ただし、男女混合となる時は男性の部とみなす）
- (2) 参加制限 30 歳以上
- (3) 競技方法 ①校区対抗戦とする。
※順位は男子の部、女子の部ごとに決定する。
②予選リーグ戦の後、上位チームによる決勝トーナメント方式とする。
③1 セット 11 点 3 セットマッチを行う。
④1 セットの制限時間は 10 分とし、ラリー中は時間がきてもラリーが終わるまで継続する。
⑤同点でタイムアップの場合は、どちらかのチームが 1 得点するまで試合を続行する。
⑥順位の決定は、1. 勝敗数、2. セット率、3. 得失点差、4. 対戦相手との勝敗で決する。
- (4) 競技規則 鳥取県バウンズボール協会競技規則による。
（平成 26 年 2 月 15 日改訂版）
ただし、70 歳以上の方、及び身体に障がいがある方は、ツーバウンドで打ってもよい。
（70 歳以上は申出をして黄色いタスキをつけること）
- 2 服 装 必ず室内用シューズを履くこと。
- 3 参加申込 6 月 27 日（木）午後 5 時までに鳥取市体育協会へ提出すること。

ソフトバレーボール競技

1 実施要領

- 受付 8 時 40 分～、開会式 9 時 10 分～、競技開始 9 時 30 分～
※開会式後に競技の説明とデモゲームを実施する場合あり。
- (1) チーム編成 1 校区最大 2 チーム（監督 1 名、選手男女各 4 名以内）とする。
（監督は選手を兼ねることができる。）
- (2) 参加制限 試合男女各 2 名が出場すること。年齢は 18 歳以上とする。（高校生不可）
- (3) 競技方法 予選リーグの後に予選順位ごとの決勝トーナメントを行う。
- (4) 競技規則 現行の（公財）日本バレーボール協会制定の「ソフトバレーボール競技規則」及び本大会の「開催要項」による。使用球は（公財）日本バレーボール協会制定のソフトバレーボールを使用する。
- 2 服 装 選手はチームごとに同色のユニフォームを着用し、胸部と背中に背番号を明記すること。
- 3 参加申込 9 月 20 日（金）午後 5 時までに鳥取市体育協会へ提出すること。
※抽選は行いません。（オープン競技のため、事務局にて予選リーグを振り分ける）

鳥取市民体育祭年度別優勝校区

第 1回 (昭和33年) 醇 風	第34回 (平成 3年) 城 北・修 立
第 2回 (昭和34年) 湖 山	第35回 (平成 4年) 岩 倉・世 紀
第 3回 (昭和35年) 大 正	第36回 (平成 5年) 城 北・津ノ井
第 4回 (昭和36年) 明 徳	第37回 (平成 6年) 賀 露・津ノ井
第 5回 (昭和37年) 醇 風	第38回 (平成 7年) 賀 露・世 紀
第 6回 (昭和38年) 醇 風	第39回 (平成 8年) 美 保・美保南
第 7回 (昭和39年) 賀 露	第40回 (平成 9年) 賀 露・中ノ郷
第 8回 (昭和40年) 賀 露	第41回 (平成10年) 賀 露・中ノ郷
第 9回 (昭和41年) 明 徳	第42回 (平成11年) 面 影・美保南
第10回 (昭和42年) 日 進	第43回 (平成12年) 面 影・美保南
第11回 (昭和43年) 美 穂	第44回 (平成13年) 醇 風・富 桑
第12回 (昭和44年) 賀 露	第45回 (平成14年) 浜 坂・中ノ郷
第13回 (昭和45年) 稲葉山	第46回 (平成15年) 醇 風・津ノ井
第14回 (昭和46年) 稲葉山	第47回 (平成16年) 美 保・若葉台
第15回 (昭和47年) 城 北	第48回 (平成17年) 美保南・若葉台・倉 田
第16回 (昭和48年) 稲葉山	第49回 (平成18年) 美 保・津ノ井・倉 田
第17回 (昭和49年) 稲葉山	第50回 (平成19年) 面 影・津ノ井・倉 田
第18回 (昭和50年) 面 影	第51回 (平成20年) 面 影・中ノ郷・倉 田
第19回 (昭和51年) 稲葉山・面 影	第52回 (平成21年) 面 影・中ノ郷・修 立
第20回 (昭和52年) 稲葉山・面 影	第53回 (平成22年) 浜 坂・津ノ井・遷 喬
第21回 (昭和53年) 稲葉山・浜 坂	第54回 (平成23年) 美保南・津ノ井・修 立
第22回 (昭和54年) 稲葉山・浜 坂	第55回 (平成24年) 面 影・津ノ井・修 立
第23回 (昭和55年) 面 影・末 恒	第56回 (平成25年) 面 影・津ノ井・修 立
第24回 (昭和56年) 湖 山・岩 倉	第57回 (平成26年) 面 影・津ノ井・倉 田
第25回 (昭和57年) 面 影・岩 倉	第58回 (平成27年) 浜 坂・津ノ井・修 立
第26回 (昭和58年) 美 保・末 恒	第59回 (平成28年) 美 保・津ノ井・修 立
第27回 (昭和59年) 城 北・岩 倉	第60回 (平成29年) 面 影・津ノ井・修 立
第28回 (昭和60年) 湖 山・岩 倉	第61回 (平成30年) 岩 倉・津ノ井・修 立
第29回 (昭和61年) 面 影・世 紀	第62回 (平成31年) 美 保・津ノ井・修 立
第30回 (昭和62年) 岩 倉・津ノ井	第63回 (令和 2年) 大 会 中 止
第31回 (昭和63年) 城 北・美保南	第64回 (令和 3年) オ ー プ ン 競 技
第32回 (平成元年) 城 北・世 紀	第65回 (令和 4年) 末 恒・修 立・遷 喬
第33回 (平成 2年) 城 北・浜 坂	第66回 (令和 5年) 浜 坂・津ノ井・遷 喬

～鳥取市からのメッセージ～
限りある資源を大切にしましょう